

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	:	N-(2-メトキシエチル)-N-メチルピロリジニウムテトラフルオロボーラート
会社情報		
会社名	:	関東化学株式会社
住 所	:	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-2-1
担当部門	:	試薬事業本部 企画管理部 資料課
電話番号	:	(0120)260-489
F A X番号	:	(03)3241-1047
メールアドレス	:	BC32@kanto.co.jp
整理番号	:	25967

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	急性毒性 (経口)	区分 4
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 3
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 3

絵表示



注意喚起語 :

危険有害性情報 :

飲み込むと有害
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策	:	取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 環境への放出を避けること。
応急措置	:	飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。 口をすすぐこと。
廃棄	:	内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	:	物質
別名	:	MEMPBF4

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS RN
			化審法番号	安衛法番号	
N-(2-メトキシエチル)-N-メチルピロリジニウムテトラフルオロボラート	≥ 98	C8H18BF4NO	-	8-(1)-3884	464927-76-2

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水で洗い流し、速やかに医師の処置を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに流水で 15 分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ 1-2 杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。無理にはかせてはならない。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
- 使ってはならない消火剤 : 水
- 消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
消火作業は、風上から行う。
初期の火災には、粉末・二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 漏洩した液は、できるだけ空容器に回収する。漏洩した場所は水酸化カルシウム、炭酸ナトリウムなどの水溶液を用いて処理し、多量の水を用いて洗い流す。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 皮膚に付けたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。火気に注意する。
- 安全取扱注意事項 : 密閉された装置、機械、または局所排気装置を使用する。取扱いは換気のよい場所で行なう。

酸化剤と接触させない。

保管

- 安全な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
産衛学会 許容濃度	設定されていない
ACGIH TWA	設定されていない

設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

保護具

- 呼吸用保護具 : 必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)または送気マスク
手の保護具 : 不浸透性保護手袋
眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣(長袖作業衣)、保護長靴、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
色 : 無色 - 淡黄色
臭い : 無臭
pH : 5 - 7
融点 : 18 °C
凝固点 : データなし
沸点 : データなし
引火点 : 338 °C (O.C.)
自然発火点 : データなし
分解温度 : 360 °C
可燃性 : 熱すると火災のおそれ
蒸気圧 : データなし
相対密度 : データなし
密度 : 1.23 g/cm³ (25°C)
相対ガス密度 : データなし
溶解度 : 水: 可溶。有機溶媒に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) : データなし
爆発限界 (vol %) : データなし
動粘性率: : 125.2 mm²/s (25°C)
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 水と接触すると加水分解し、ふつ化水素を発生する。
酸化剤と接触すると反応することがある。

化学的安定性	: 通常条件で安定である。
危険有害反応可能性	: 強酸、強アルカリと接触すると分解し有害なガスを発生する可能性がある。
避けるべき条件	: 日光、熱、水分。
混触危険物質	: 酸化剤、強酸、強アルカリ物質、水。
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、窒素酸化物、ふっ素、ふつ化水素、酸化ほう素。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 飲み込むと有害 ラット LD50=500mg/kg
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない (気体) 分類できない (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)
皮膚腐食性／刺激性	: 分類できない 皮膚を刺激する可能性がある。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 分類できない 眼を刺激する可能性がある。
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない In vivo のデータはない。In vitro では、細菌を用いた復帰突然変異試験で陰性である。
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない 気道を刺激する可能性がある。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)	: 水生生物に有害 甲殻類(ミジンコ) EC50=10 - 100mg/L/48h
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 長期継続的影響によって水生生物に有害

残留性・分解性

追加情報なし

生体蓄積性

追加情報なし

土壤中の移動性

追加情報なし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性	: 分類できない
-----------	----------

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 可燃性溶剤と混合して、スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
焼却炉は有機ハロゲン化合物を焼却するのに適したものであること。
スクラバーの洗浄液には、アルカリ溶液を用いる。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送 (IMDG)

- 国連番号 (IMDG) : 非該当
正式品名 (IMDG) : 非該当
容器等級 (IMDG) : 非該当
輸送危険物分類 (IMDG) : 非該当

航空輸送 (IATA)

- 国連番号 (IATA) : 非該当
正式品名 (IATA) : 非該当
容器等級 (IATA) : 非該当
輸送危険物分類 (IATA) : 非該当

海洋汚染物質

- : 非該当

国内規制

- 陸上規制 : 消防法、毒物及び劇物取締法、道路法の規定に従う。
その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

- 労働安全衛生法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 劇物 (指定令第2条)
 : 硼沸化水素酸及びその塩類
水質汚濁防止法 : 有害物質 (法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)
道路法 : 車両の通行の制限 (施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
 : ほう素化合物 (管理番号: 405) ほう素として(4.6%)
土壤汚染対策法 : 特定有害物質 (法第2条第1項、施行令第1条)

16. その他の情報

- 参考文献 : NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIPI)、独立行政法人製品評価技術基盤機構。

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート (SDS) は、JIS Z7253に基づいて作成しております。